

毎回  
創刊号  
発行：人事G

登別で暮らし始めるみなさんへ

# 登別ジワり通信

## 毎回創刊号！「登別ジワり通信」

はじめまして！

「登別通信」編集長の登別市地域おこし協力隊、北海道江別市出身の新村のりこです。みなさんのように初心忘れるべからずということで毎回創刊号と銘打ち、じわじわと興味が沸いてくる登別情報をまとめました。



### まず、登別といえば・・・



クマ牧場！即答できた方はかなりの登別通か年齢詐称かのどちらかです。「の・ぼ・り・べ・つ、と言えは」から始まるラップ調のCMは、20年ほど前に一世を風靡しました。実はこのクマ牧場、最初は山頂からの絶景を見てもらおうとロープウェイを設置したものの、登別は霧が多く景色が見えないことが多々あったため、お客さまに少しでも楽しんでもらうためクマ牧場ができたそうです。

### テストに出るよ！クマ牧場「神セブン」

※出ません（テストもありません）

#### NKB総選挙2022 神セブン

1位 イナホ  
2位 ベッキー  
3位 プリンプリン

4位 クンチャン  
5位 コロン  
6位 モリコ  
7位 シズク





# さらに、登別といえば・・・やっぱり“温泉”



## 皮膚病に悩む妻のために「登別温泉」

1858年に大工として幌別で駅通所（宿場や郵便などを兼ね備えた施設）の建設に携わっていた滝本金蔵が登別温泉を開湯しました。皮膚病で苦しむ奥さんのため山道を分け入り療養用の小屋を建てたことから始まり、その後、私費で「第一滝本館」の前身となる温泉宿と新しい道（現在の道路）を整備。来年で開湯166年を迎えます。

## 場所、泉質、歴史、すべて別物！ 登別温泉とカルルス温泉

### 登別温泉とは異なる趣向で開湯 「カルルス温泉」

登別温泉開湯から約40年後に伐採樹種調査のためにペンケ・ニセイ地区（現カルルス町）を訪れていた日野久橋によって発見され、その後、日野と室蘭の薬屋、市田重太郎とともに開湯。歓楽街のある華やかな登別温泉とは一線を画し、温泉で身体を癒す自然豊かな「湯治場」として発展してきました。



## テストに出るよ！登別・カルルス10の湯 ♨

※出ません（テストもありません）

- |  |  |  |  |   |
|--|--|--|--|---|
| <p>ゆで卵のにおい</p> <p><b>1</b><br/>硫黄泉</p> | <p>湯気めしなげ「熱の嵐」</p> <p><b>2</b><br/>食塩泉</p> | <p>湯沸かし始めると</p> <p><b>3</b><br/>明ばん泉</p> | <p>湯気が高く「すそ」</p> <p><b>4</b><br/>芒硝泉</p> | <p>湯気が出るまで待つ</p> <p><b>5</b><br/>緑ばん泉</p> |
| <p>靴を洗った後の湯</p> <p><b>6</b><br/>鉄泉</p> | <p>皮膚力が高い</p> <p><b>7</b><br/>酸性泉</p>      | <p>湯がすべて美人の湯</p> <p><b>8</b><br/>重曹泉</p> | <p>湯が冷たい</p> <p><b>9</b><br/>ラジウム泉</p>   | <p>湯気にも使えます</p> <p><b>10</b><br/>単純温泉</p> |

登別温泉  
1か所だけで9種類！  
世界でも珍しい  
温泉地です



観光だけじゃない。田舎以上都会未満の豊かな暮らし。

## 普段着の登別



登別市移住ポータルサイト「楽住」より

登別市は歴史的な背景から大きく4つのエリアに分かれています。登別温泉、登別駅周辺、幌別、鷺別地区。それぞれ特徴があり、暮らし方によって地区を選べるのが魅力です。

登別温泉地区…温泉旅館に従事する人たちが多く住む地区。

登別駅地区…登別温泉やお隣の白老町にも近く、古くから温泉街とともに発展してきた歴史ある地区。

幌別地区…市役所や地元ならではの飲食店があり、また、スーパーやドラッグストアも充実した地区。

鷺別地区…幌別地区よりもさらにスーパーや飲食チェーン店が充実。室蘭にも近く便利な地区。



登別温泉の囃子

### 地獄の中の温泉天国

硫黄の匂いが街中にただよう温泉エリア。

旅館と商店街が立ち並び、観光客で賑わいます。ここで働く人がわずかに暮らしていますが、強すぎる硫黄が家電や車をも壊してしまう、まさに地獄と呼ぶにふさわしい？地区です。



さきり湯

## 登別温泉 登別駅



ヌブルのシェフ・トキ子さん  
「七色のひかり」

### 温泉とともに栄えた商店街

登別温泉への玄関口として観光客を迎えてきた商店街と、アイヌ文化・観光情報の発信施設「ヌブル」を有する地区。観光地登別の賑わいを支えてきた人たちが暮らしています。食事処「美和」さんの肉ライスで午後は動けなくなることも間違いなし！



「美和」の肉ライス





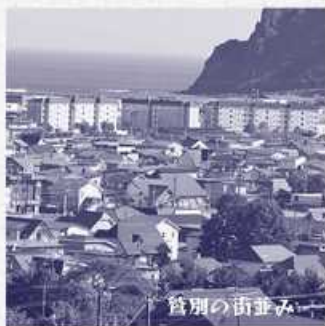
## 登別の暮らしが凝縮

登別市役所のある幌別地区は地元の人が営む飲食店さんがまだ多く残っている地区です。カムイヌプリに見守られながら、お昼は「洋食のいし川」さんでカツカレー、夜は居酒屋めぐり。スーパーやドラッグストアもあり、車がなくても暮らせませす。



## 幌別

## 登別地区



## 室蘭に近くチェーン店も多し

イオン、マック、すき屋、ガスト、DCMにしまむら、これだけでも十分便利な登別地区は、西胆振の都市、室蘭にも一番近く、場所によっては10分ほどでニトリやユニクロに行くことができる、欲張りさんなエリアです。ずるいぞ登別！



## 登別市役所もある「幌別」地区の味な店、味な場所 ほんの一部をご紹介します！





## 登別の「田舎以上都会未満」を わかりやすくご紹介



自然豊か

古きよき風景

ちょっと便利

だいぶ便利

もはや都会



登別温泉やカルルス温泉の  
周辺は国立公園。  
豊かな自然が広がります。

温泉のまち、登別で長く続いて  
いるお祭りは今も昔もかわらず  
わたしたちの大切な行事です。

どの地区にもスーパーやコンビニ  
があり、2023年にはおしゃれなコ  
ワーキングスペースもオープン！

お隣のまち室蘭に近づくにつ  
れて便利な全国チェーンのス  
ーパーや飲食店が登場します。



## 祭りで始まり祭りで終わる 登別の暑い夏

7月に入ると市内がにわかにざわつきます。  
登別駅前の「のぼりべつワクワク広場」に始まり、9  
月の幌別地区、刈田(かった)神社のお祭りまで毎週  
なにかしらイベントが開催され、まさに鬼のごとく夏  
を駆け抜けるのです。  
みんなで走り切る爽快感、ぜひ体感してみてください。



編集後記(新村のりこ)

登別市民になって約1  
年。すべてが新鮮であっ  
という間に時が過ぎてい  
きました。「元気になる  
まち」これがわたしの登  
別の印象です。温泉も人  
もみなあたたかく、のど  
かな街並み、豊かな自然、  
栄養ドリンクいらずの登  
別。ジワリと効く登別の  
不思議なパワーを感じて  
もらえたら嬉しいです。